

## YCM-FL形 断続継電器 表示用

Type YCM-FL Flicker Relay

本器は故障表示灯、信号灯などの点滅用に使用される断続継電器で、故障の発生あるいは種々の操作に関連した表示などを、監視者に識別し易くするために使用します。

### ■ 構造と動作

本器は接点構成や動作時限、復帰時限の異った4個の通信用継電器を組み合わせて表示点滅用として理想的な周期を得たもので、安定した時限と長寿命を保証しています。

通信用継電器としては、下記の2種類の動作特性のものを使用しています。

**速動速放:** 励磁されると速時 (20 ms 以内) にその接点を閉路または開路し、励磁を解かれると速時 (約 10 ms) に接点を開路または閉路するものをいいます。

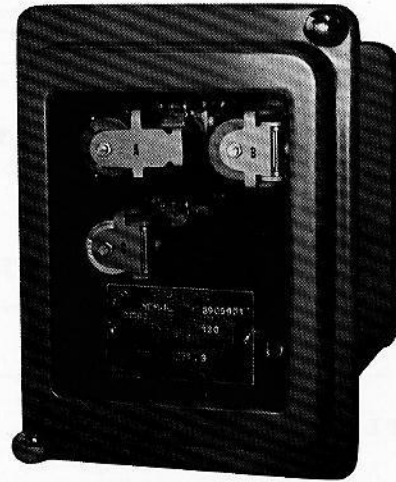
この 20 ms を動作時間、10 ms を復帰時間と称します。

**速動緩放:** 動作時間が 20 ms 程度、復帰時間が 150~300 ms のものです。

これらの継電器を組み合わせた本器の動作を説明します。

第3図は起動条件が成立して組み合わされた継電器が、互いに関連して動作していく順序を示したものです。

図の横軸は時間を表わします。まず起動指令により、1端子に電圧が付勢されるとAが励磁され直ちに動作しBを付勢します。Bも速時に動作し、Bの接点によりCを付勢し、Cのb接点でAの励磁を断ちます。Aは励磁を断たれてから一定時間の後その接点を開きBを消勢、Bが復帰すればCも復帰しCの緩放時間の後その接点が復帰すればAの励磁回路が成立し最初の状態にもどります。これで1周期を終

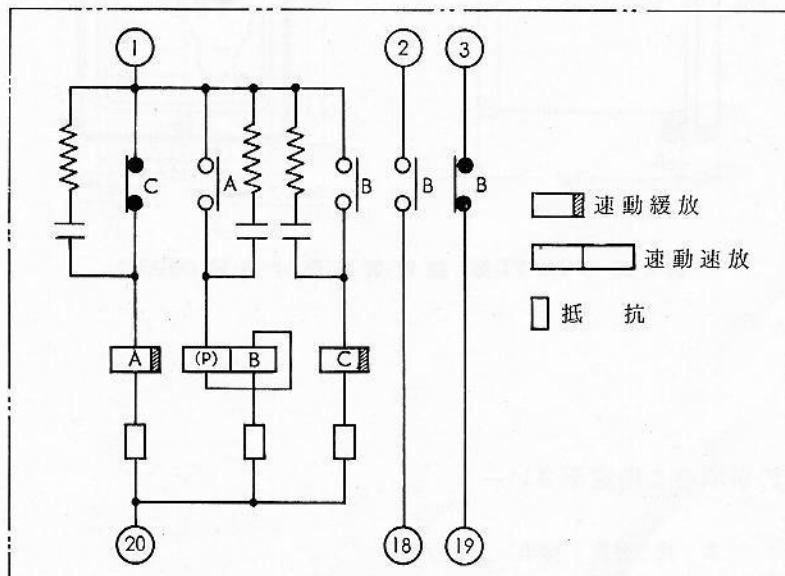


第1図 YCM-FL形 断続継電器 (埋込形)

了したことになり、再びA、B、Cの順序で動作、復帰という一定時限の反復動作を繰り返します。

外部端子には、B継電器の接点 1a 1bを引き出しており点滅回数は毎分120回、点滅時間は1対1としています。

外部18、19端子の使い分けは、事故時のみ表示灯を点滅させ断続を停止すれば消灯する場合に18を、常時点灯しており事故時断続させる場合には19を使用します。

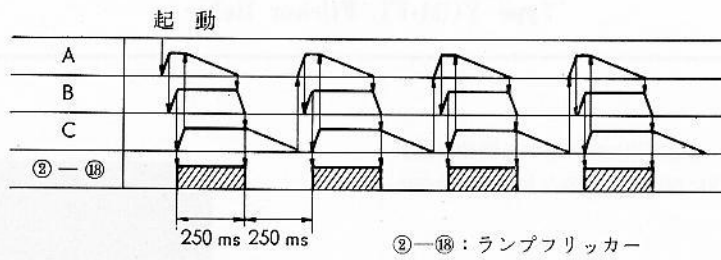


第2図 内部接続図 (表面)



## 日新電機株式会社

本社 京都市右京区梅津高畝町 電話(075)86-3151 大代

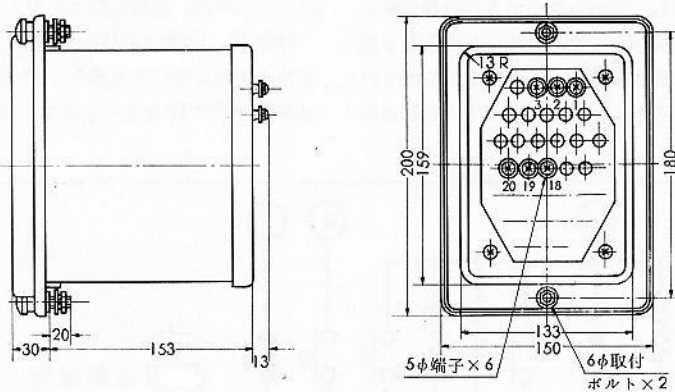


第3図 動作関連図

YCM-FL形 断続継電器標準定格表

形式	定格	断続回数	動作特性	備考
YCM-FL	D.C. 48 V または D.C. 100 V	毎分 120 回	点滅時間 1対1	埋込形

- 注). 1. 重量は約 4.1 kg です。  
2. 交流電源を使用する場合は整流器箱と組み合わせて使用します。



第4図 YCM-FL形 継電器外形寸法図(埋込形)

—ご注文に際しては次の事項をご指定下さい—

1. 定格: D.C.    V    2. 接点容量: 開閉    V    A
3. 標準外の仕様がある場合